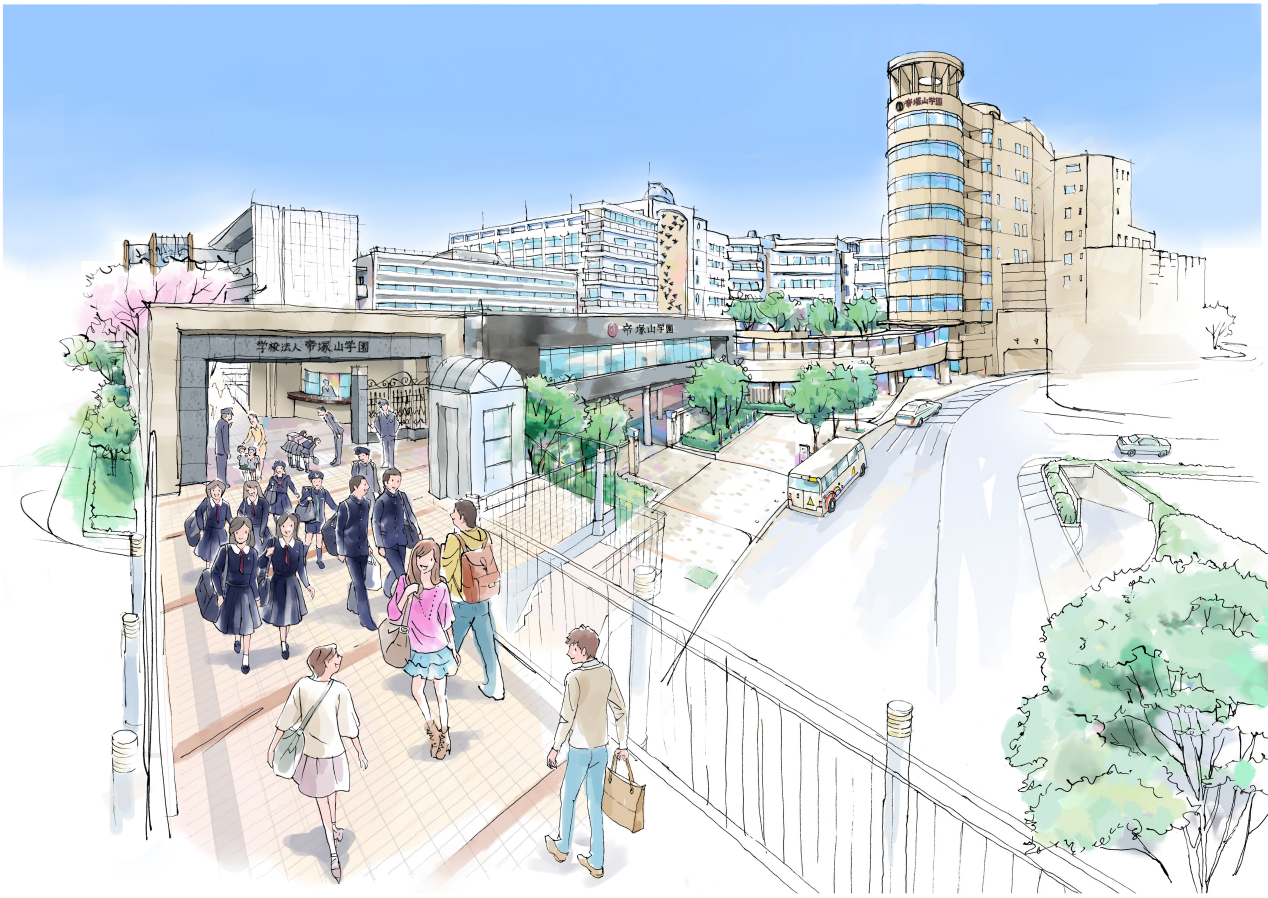
平成２７年度

学校評価報告書

帝塚山小学校



学校法人帝塚山学園

平成 27 年度学校評価について

帝塚山小学校は、平成 27 年度の教育活動、及びその他の学校運営の状況について、学校評価を実施しました。

学校評価は、本校児童とその保護者等を対象とした各アンケート結果、並びに育友会等との懇談会で寄せられた御意見等を活用のうえ実施しました。

このたびの結果を踏まえ、更なる教育水準の向上を目指して、教育活動及び学校運営の改善工夫に組織をあげて継続的に取り組んでいく所存です。

帝塚山小学校
校長　池田　節

１．学校評価総括

建学の理念	「国家・社会の負託に応える有為の人材を育成する」
教育目標	倫理観のある子ども・豊かな感性を持つ子ども・強い精神力と体を持つ子ども・高い英知と学力を持つ子どもの育成。
これまでの成果と課題	礼儀正しく、品性豊かな子どもの育成において高く評価されている。またさまざまな体験活動、表現活動を通して児童の感性を磨いてきた。 今後、確かな「思考力」「判断力」「表現力」を持った子どもの育成に向けて、教員の授業力、教育力を向上させていきたい。

本年度の重点目標	具体的目標	総合評価・特記事項
教育内容の充実	公徳心の涵養・基礎学力充実の手だての改善	特色ある教育として、国際理解教育、自然環境教育に加えて、新たにプログラミング教育、ロボット教育を位置づけることができた。また、高学年児童を対象に英語集中プログラムを実施し、国内留学の定着を図った。さらに広報活動ではホームページの更新・充実を図り、幼児の体験入学や保護者説明会で帝塚山教育の独自性をアピールした結果、出願者を増加させることができた。
特色ある教育の推進拡充	国際理解教育・環境教育の充実	
教員の意識改革・行動改革推進	自己点検シートを通して自己の教育活動を振り返る	
児童募集活動の強化	帝塚山小学校教育の広報活動の充実	

２．教育活動に関する評価

評価項目	具体的目標・具体的方策	評価指標	自己評価結果	
建学の理念に基づく教育目標 教育計画	教育目標の設定	学校教育目標を保護者会で伝えている	A	A
	教育計画の作成	学級経営案や教科経営案を作成し、実行している	A	
	教育課程の編成	学級経営や教科経営の重点が次回に生きるように工夫している	A	
	教育活動の評価	安定した学級づくり、授業作りができている	A	
教科指導	学習指導計画の立案	年間カリキュラム、および月間カリキュラムを作成し、実行している	A	A
	学習内容の精選	学習の重点を決め、その目標に合致した授業をしている	A	
	指導方法の工夫改善	具体物を利用したり導入や展開の工夫をし子どもの意欲を高める授業にしている	A	
	評価	テストや評価を行い、その評価が子どもや保護者に伝わるようにしている	A	
道徳 特別活動	指導計画の立案	特別活動が、教師の創意工夫と児童の主体性を重視して取り組まれている	A	A
	学級活動・学級経営	学級会や係活動、学級集会活動が子どもの意欲を高める働きかけをしている	A	
	学校行事	学校行事の準備、計画ができ、具体的な働きかけをしている	A	
	児童会活動の活性化	学校委員や学級委員がやりやすい雰囲気を作っている	A	
	クラブ活動の活性化	意欲を高めるような課題を設定して、クラブを進めている	A	
	道徳教育	具体的な資料をもとに授業を進めている	A	
総合的な学習の時間の指導（英語・情報）	学習指導計画の立案	年間指導計画にもとづいて、見通しを持って取り組んでいる	A	A
	学習内容の精選	指導の重点を明らかにし、その目標にあった授業をしている	A	
	指導方法の工夫改善	具体物の利用や導入・展開を工夫した授業をしている	A	
	評価）	テストや評価を行い、保護者に分かるように伝えている	B	

評価は４段階【A：十分である（よくできた）、B：ほぼ十分である（できた）、C：あまり十分でない（あまりできなかった）、D：改善を要する（できなかった）】

評価項目	具体的目標・具体的方策	評価指標	自己評価結果	
人権教育	人権教育指導計画の立案	年間指導計画に基づき、授業を進めている	A	A
	学習内容の精選	各学年に応じた目標設定がなされ、その目標に合った授業をしている	A	
	指導方法の工夫改善	具体物や資料をもとに授業を進めている	A	
児童指導	組織的な児童指導	学校の決まりや生活目標を共通理解している	A	A
	問題行動の指導	事の善し悪しを判断し、適切な指導をしている	A	
	教育相談・児童理解指導	児童理解に努め、子どもの悩みに積極的に対応している	A	
	家庭との連携	必要に応じ、保護者との連絡をしている	A	
	関係諸機関との連携	必要に応じ、学年主任、教頭、校長に連絡を取っている	A	
進路指導	組織的な進路指導	進路に関する会議を行い、進路状況を確認している	A	A
	勤労観・職業観に関する指導	生産活動や講演、実習を通して、様々な職業があることを具体的に知らせている	A	
	指導方法の工夫改善	進路に関する資料を準備し、情報を共有する	A	
	進路指導	本人および保護者との面接を行い、進路に関わる援助を行っている	A	
	家庭との連携	面接等を通して、適切な助言を行う	A	
	関係諸機関との連携	県内外の国・私立学校、県内公立学校と連携がとれている	A	

評価は４段階【A：十分である（よくできた）、B：ほぼ十分である（できた）、C：あまり十分でない（あまりできなかった）、D：改善を要する（できなかった）】

３．学校経営に関する評価

評価項目	具体的目標・具体的方策	評価指標	自己評価結果	
組織運営	校長・園長のリーダーシップ	建学の精神「国家・社会の負託に応える有為の人材を育成する」を周知徹底する	A	A
	学校経営目標・方針	「じっくり心で考える・じっくり頭で考える・じっくり体で考える品性と感性豊かな考える子ども」の育成を図る	A	
	教職員の適正配置と運営への参加意識	全職員が学校経営に参画することを意図した自己目標を設定し、適材適所の人材を配置をする	A	
	校務分掌等の連携	校務分掌ごとの話し合いがなされ、組織が機能している	A	
	会議の運営と位置づけ	課題に対して真摯に取り組み、校長の諮問機関としての役割を果たしている	A	
	会議の結果	職員会議で話し合われたことが、教育活動や学校運営に生かされている	A	
	職場の人間関係	管理職、学年や学級、および専科の相互の連絡が円滑で、意欲や力が発揮できている	A	
研究・研修	研修の組織・計画・実施	研究主題に沿った校内研修が計画的に行われている	A	A
	校内研修	校内研修の成果が日常の教育実践の場に生かされている	A	
	授業研究	授業研究会を通して、教員の指導力が向上している	A	
	校外への研修の参加	教育に必要な知識や研究のために、学校外の研修に努めている	A	
	研修成果の普及	自らの研究と修養に努め、活力ある教育活動が展開できている	A	
安全管理	学校安全計画の立案	安全管理体制の構築のために学校安全計画を立てている。	A	A
	学校防災計画の立案	防災・避難訓練を定期的に行っている	A	
	危機管理体制の整備	危機管理マニュアルの点検、見直しを行い、活用しやすくしている	A	
	安全指導の工夫改善	登下校の児童の様子を把握するとともに、子どもたちが安全な生活ができるようにしている	A	
	家庭との連携	不審者情報等、速やかに保護者に連絡をしている	A	
	関係諸機関との連携	市、県、関係機関との連絡を強化している	A	

評価は４段階【A：十分である（よくできた）、B：ほぼ十分である（できた）、C：あまり十分でない（あまりできなかった）、D：改善を要する（できなかった）】

評価項目	具体的目標・具体的方策	評価指標	自己評価結果	
保健管理	学校保健計画の立案	学校保健計画を作成し、そのスケジュールに従って実施する	A	A
	心のケアや健康相談体制の整備	子どもたちの心や体の健康相談のニーズに応えている	A	
	健康観察、健康管理能力の育成	日常の子どもの健康観察を細かく行い、疾病予防等の指導をしている	A	
	関係諸機関との連携	保健所、学校医、歯科医、薬剤師との連絡体制を整えている	B	
	学校給食の衛生管理	学校給食の衛生管理マニュアルを厳正に実施している	A	
地域との連携	学校情報の発信	学校便りを発行し、毎月学校の教育内容や計画を伝えている	A	A
	学校（授業）公開	定期的な授業参観、外部への公開授業、研究授業を行っている	A	
	家庭・地域との連携	保護者や地域住民との連携を強化し、学校に対する協力を得ている	A	
	ＰＴＡの活性化	学校と育友会の結びつきを強化し、協力を得ている	A	
	校種間連携	学園の幼稚園・中学・高校・大学との協力関係が作られている	A	
	学園評議員	学園評議員より十分な協力関係を得ている	B	
施設・設備	教育環境の整備	学校内の掲示物が常に新しく更新されている	A	A
	施設設備の有効利用	施設・設備が有効に活用されている	A	
	施設設備の管理	施設設備の安全、維持管理がなされている	A	
情報管理	公文書の収受、保管	公文書が整理され、安全に保管されている	A	A
	公文書の作成	遅滞なく公文書が処理されている	A	
	個人情報の保護、管理	子どもの個人情報が学外に持ち出されないような仕組みを作っている	A	
児童募集・広報活動	体験入学	子どもや保護者に小学校に対する親密感を感じさせている	A	A
	入学説明会	子どもや保護者に効果的な案内を行っている	A	
	外部入試説明会	外部から依頼のあった入学説明会に参加している	A	
	募集広報	ホームページの更新や学校案内の送付を継続的に行っている	A	

評価は４段階【A：十分である（よくできた）、B：ほぼ十分である（できた）、C：あまり十分でない（あまりできなかった）、D：改善を要する（できなかった）】